

# 伊藤 隆敏 教授

---

専門分野：国際金融（金融政策、アジア経済、日本経済）

学位：Ph.D. in Economics（ハーバード大学）

略歴：1973年一橋大学経済学部卒業。同大学院経済学研究科修士課程を経て、1979年ハーバード大学経済学博士課程修了（Ph.D.）。ミネソタ大学経済学部助教授、同准教授、一橋大学経済研究所助教授、同教授、東京大学先端科学技術研究センター教授を経て、2004年東京大学大学院経済学研究科、兼、公共政策大学院教授（2012年同院長）に就任、2014年4月政策研究大学院大学教授（兼）東京大学公共政策大学院特任教授を経て、2015年1月より政策研究大学院大学教授（兼）コロンビア大学教授。その間、1992-94年ハーバード大学ケネディ行政大学院客員教授、1994-97年国際通貨基金（IMF）調査局上級審議役、1999-2001年大蔵省副財務官、2006年10月-2008年10月、経済財政諮問会議の民間議員、2009年秋学期コロンビア大学ビジネススクール客員教授。2015年1月からコロンビア大学教授を兼任。

## 1. 業績（A）

### （1）雑誌論文

#### ① 単著

- \* Takatoshi ITO, “The Plaza Agreement and Japan: Reflection on the 30th year Anniversary”, *Baker Institute Working Paper*, 2015.
- \* Takatoshi ITO, “Comments on Jon Faust and Eric Leeper, “The Myth of Normal: The Bumpy Story of Inflation and Monetary Policy””, *Federal Reserve Bank of Kansas City, Economic Policy Symposium Proceedings*, 2015.

#### ② 共著

- \* Takatoshi ITO, Masahiro YAMADA, “High-frequency, Algorithmic Spillovers Between NASDAQ and Forex”, *NBER Working Paper No. 21122*, April 2015.
- \* T. ITO, S. KOIBUCHI, K. SATO, and J. SHIMIZU, “Choice of Invoice Currency in Global Production and Sales Networks: The case of Japanese overseas subsidiaries”, *RIETI Discussion Paper Series 15-E-080*, July 2015.
- \* 伊藤隆敏・鯉渕賢・佐藤清隆・清水順子、「日本企業の為替リスク管理とインボイス通貨選択：平成26年度日本企業海外現地法人アンケート調査結果概要」、*RIETI Discussion Paper Series 15-J-054*、2015年10月
- \* Sir Charles Bean, Christian Broda, Takatoshi Ito, Randall Kroszner, “Low for Long? Causes and Consequences of Persistently Low Interest Rates”, *Geneva Reports on the World Economy 17*, Centre for Economic Policy Research, 2015/10/23. (ISBN: 978-1-907142-94-9)
- \* 伊藤隆敏・清水順子、「国際マクロから考える日本経済の課題」、*RIETI Discussion Paper Series 15-P-019*, 2015年11月
- \* 伊藤隆敏・清水順子、「第2章 国際マクロから考える日本経済の課題」、藤田昌久編『日本経済の持続的成長 —エビデンスに基づく政策提言』57～89頁、2016年3月30日、東京大学出版会（ISBN: 978-4-13-040273-6）

- \* ITO Takatoshi, KOIBUCHI Satoshi, SATO Kiyotaka, SHIMIZU Junko, “Choice of Invoice Currency in Japanese Trade: Industry and commodity level analysis”, *RIETI Discussion Paper Series* 16-E-031, March 2016.
- (2) 学術会議、国際会議での発表
  - \* David LIPTON, Stanley FISCHER, Peter PRAET, and Takatoshi ITO, ‘2015 Spring Meetings of the World Bank Group and the International Monetary Fund’, Panelist, “The Elusive Pursuit of Inflation”, George Washington University, 2015/4/16.
  - \* 伊藤隆敏、日本金融学会 2015 年度春季大会、報告者、「経常収支、為替レートとバラッサ・サミュエルソン効果」、東京経済大学、2015 年 5 月 17 日
  - \* Takatoshi ITO, ‘BoE - HKMA - IMF Conference on Monetary, Financial and Prudential Policy Interactions in the Post-Crisis World’, Discussant, “The changing nature of the financial system and the challenges for post-crisis policy frameworks”, Bank of England (London), 2015/6/16.
  - \* T. Ito, A. Rose, and M. Spiegel, ‘East Asian Seminar on Economics’, organizer, “Financial Stability”, San Francisco, 2015/6/18-19.
  - \* 伊藤隆敏、伊藤元重、モーリス・オブストフェルド、アニル・カシヤップ、「ESRI 国際コンファレンス「日本経済の着実な成長に向けて」」、パネリスト、「パネル・ディスカッション：日本経済の着実な成長に向けて」、アジア開発銀行研究所、2015 年 7 月 31 日
  - \* Takatoshi ITO, Arsenio BALISACAN, Wing Thye WOO, ‘7th Meeting of the International Policy Advisory Group – Asia’s Growth and Development Challenges after the Global Financial Crisis’, Panelist, “Asian Economies after the Global Financial Crisis”, ADB Headquarters (Manila), 2015/8/3.
  - \* Takatoshi ITO, ‘Jackson Hole Economic Policy Symposium 2015’, Discussant, “Reinflation Challenges and the Inflation: Targeting Paradigm”, Jackson Hole (Wyoming), 2015/8/29.
  - \* Takatoshi ITO, ‘Currency Policy Then and Now: 30th Anniversary of the Plaza Accord’, “The Plaza Agreement and Japan: Reflection on the 30th year Anniversary”, Rice University’s Baker Institute, 2015/10/1.
  - \* Caroline Atkinson, Herminio Blanco, Takatoshi Ito, Jeffrey Schott, ‘High-Level Conference on Economic Linkages between Asia and Latin America: Opportunities, Challenges and Policies’, Panelist, “Assessing the Trans-Pacific Partnership: Key Opportunities and Challenges to Integration between Asia and Latin America”, IMF Headquarters (Washington, D.C.), 2016/3/3.

## 2. 業績 (B)

- (1) 書評・解説等
  - \* 伊藤隆敏、「「骨太の方針、2015」の評価」、新生銀行「スペシャルレポート」、2015 年 8 月 17 日
  - \* 伊藤隆敏、「CPINow の学問的・実務的・政策的貢献」、NowcaStats マンスリーレポート、2015 年 11 月 9 日

## 3. 助成金等による研究

- \* 科学研究費補助金 (基盤研究 A: 25245044) 「外国為替市場のマイクロ・ストラクチャーと効率性：高頻度データによる検証」研究代表者 (研究期間：2013 年 10 月 21 日～2017

年 3 月 31 日 (予定))

#### 4. 教 育

(1) 講 義

\* Asian Financial Markets (Spring II 2015)

(2) 研修事業

\* インドネシア大統領補佐官研修

#### 5. 管理・運営への関与

(1) 委員会

\* One-year Master's Program of Public Policy (MP1) Committee

\* Two-year Master's Program of Public Policy (MP2) Committee

#### 6. 社会的貢献 (A)

(1) 国および地方公共団体における審議会等の活動

\* 財務省 関税・外国為替等審議会 外国為替等分科会、臨時委員

\* 厚生労働省 社会保障審議会 年金部会、専門委員

\* 金融庁 金融・資本市場活性化有識者会合、幹事

(2) 他大学・研究所等における活動

① 非常勤講師

\* 東京大学公共政策大学院

② その他

\* コロンビア大学ビジネススクール・教授

\* コロンビア大学日本経済経営研究所・研究副部長

(3) 財団法人等における活動

\* 独立行政法人経済産業研究所 (ファカルティフェロー・プログラムディレクター)

\* 公益財団法人東京経済研究センター (評議員)

\* 公益財団法人国際通貨研究所 (評議員)

(4) その他

\* Monetary Policy Advisory Panel (Federal Reserve Bank of New York)

\* 参議院 財政金融委員会 (第十四回)「アジアインフラ投資銀行に関する件」に参考人として出席 (2015 年 5 月 28 日)

\* 自民党「政調、外交部会・財務金融部会・外交・経済連携本部合同会議」に講師として出席 (2015 年 6 月 3 日)

#### 7. 社会的貢献 (B)

(1) ジャーナリズムを通じた発言

① 活字メディア

\* Financial Times (寄稿): "Someone needed to speak truth to Europe", Takatoshi Ito, July 7, 2015.

\* 日本経済新聞「経済教室」(寄稿):

- 2015.04.30、「アジア投資銀の行方 (上) 拙速な参加 見送りは妥当」

- 2015.12.17、「人民元 SDR 構成通貨に（下） IMF、中国の成長性評価」
- \* 日本経済新聞「ニュース複眼」欄（インタビュー記事）：2016.03.03 付朝刊 9 頁、「波乱の米大統領選、行方は——支配層への怒り根深く」
- \* Discuss Japan（寄稿記事の翻訳）：“The Future of the Asian Infrastructure Investment Bank: Concerns for Transparency and Governance” (No.27, Jun 06, 2015 )
- \* Forbes Japan（「数字で読み解く日本経済」欄、2015 年 8 月号から連載、寄稿）：
  - 2015 年 8 月号、「バター不足は「強い農業」への警告である」
  - 2015 年 9 月号、「AIIB 不参加の決断は正しい」
  - 2015 年 10 月号、「なぜ、日本の最低賃金が安いとダメなのか」
  - 2015 年 11 月号、「「財政ルール」をつくり「限度」を設けよ」
  - 2015 年 12 月号、「東大はなぜ、国際競争で苦戦するのか」
  - 2016 年 1 月号、「出生率引き上げのための「5 つの提言」
  - 2016 年 2 月号、「GPIF の運用実績は長期で見よ」
  - 2016 年 3 月号、「経済学的な検討をすべき「通信費議論」
- \* 経済セミナー（「公共政策入門 経済学的アプローチ」、2015 年 10・11 月号から連載、寄稿）：
  - 第 1 回 公共政策の経済学的アプローチとはなにか（2015 年 10・11 月号）
  - 第 2 回 市場均衡は最適な資源配分を実現するか？（2015 年 12 月・2016 年 1 月号）
  - 第 3 回 気候変動や大気汚染の問題に、経済学は答えを持っているのか？（2016 年 2・3 月号）
- \* 中央公論（寄稿）：2015 年 7 月号、「特集 米中経済覇権争いのゆくえ AIIB をめぐる五つの問題」
- \* Bloomberg（インタビュー記事）：
  - 2015/6/8、「伊藤教授：すでに歴史的超円安、急落続かず — 円買い介入なら驚き(3)」
  - 2015/6/9、「伊藤教授：GPIF の運用比率、来年半ばにも新目標値に到達へ」
  - 2016/1/13、「伊藤教授：中国ショック発の円高「まだ大丈夫」、テーパリングは次期総裁」
  - 2016/1/13, “Kuroda’s Former Deputy Ito Says Japan Can Endure Stronger Yen”
- \* The Economist（コメント引用）：2015/9/26, “Abenomics: Less of the same — The Japanese government’s three new economic arrows miss their mark”
- \* El Mercurio 紙（インタビュー記事）：2015/8/17, “Ex asesor de Abe prevé commodities a la baja por desaceleración China”

## ② 電波メディア

- \* NHK
  - 2015/5/30、NHK BS1、「グローバルアジェンダ」、「世界の中の日本経済」
  - 2015/6/30、NHK World, ‘NEWSROOM TOKYO’, “Fiscal Reform”
- \* TV 東京「モーニングサテライト」（【】以下はメインコーナー）
  - 2015/6/22、【特集】ギリシャのユーロ圏離脱は不可避!?
  - 2015/9/18、【特集】FOMC を読み解く
  - 2015/12/17、【特集】大激論！ アメリカ利上げの今後
  - 2016/2/4、【NY 便り】どこに向かう、世界の金融政策
  - 2016/2/29、【NY 便り】G20 の成果を分析

- 2016/3/17、【特集】FRB の今後の行方は
- \* Bloomberg TV, 2016/1/30, “Weighing the Impact of the Bank of Japan’s Move”
- (2) 講演会, 座談会, 会議出席
- \* 2015 年 9 月 15 日、「モーニングサテライトシンポジウム 2015」
- \* 2016 年 2 月 4 日、ニューヨークの時事トップセミナー（講演）

#### 8. その他（特許, 学会賞等の受賞など）

- \* チリ大学名誉博士号（2015 年 8 月 18 日）